

栽培漁業センター生産事業 (2015年度のヒレジャコ種苗生産)

南 洋一*

この事業は、養殖用のヒレジャコの種苗を量産して漁業者等に安定した種苗配付を行い、計画的な養殖生産に資することを目的とする。

親貝は、生産年度が不明な個体（以下、生産貝）と八重山海域の天然個体（以下、八重山貝）の2種類を用い、昇温刺激と生殖腺懸濁液投与等の産卵誘発を行って採卵を行った。産卵誘発は2015年3月11日～5月15日にかけて、合計122個体の親貝に対して合計26回行ったところ、4回採卵が成功し、5個体の親貝から合計3,640万粒の受精卵を得ることができた(表1、

2)。

種苗生産の結果を表3に示した。共生成立率の平均は7.1%、稚貝が共生成立後から殻長1mmに成長するまでの生残率は30.2%だった。飼育1, 3, 4回次は、屋内水槽で飼育し、良好な成績を記録した。飼育2回次は共生成立個体がなかったが、その原因は不明であった。

平成27年度に採卵し中間育成を経て年度内に出荷した稚貝数は51,300個体であった(表4)。

表1. ヒレジャコ親貝の産卵誘発回数と産卵個体数

採卵回次	産卵誘発期間	産卵誘発をかけた回数(回)	産卵誘発をかけた親貝数(個体)	産卵した親貝数(個体)
2015 1	3/11～3/25	10	25	2
2	3/30～4/1	3	35	1
3	4/3～4/15	8	30	1
4	4/16～5/15	5	32	1
計		26	122	5

表2. 試験開始時の収容状況

採卵回次	採卵日	採卵数(万粒)	ふ化率(%)	母貝の履歴	媒精個体の履歴
1	2015/3/25	2,224 416	15 55	生産貝 生産貝	生産貝 生産貝
2	2015/4/1	80	100	生産貝	生産貝
3	2015/4/15	240	96	生産貝	生産貝
4	2015/5/15	680	100	生産貝	生産貝
計		3,640			

表3. 2015年ヒレジャコの種苗生産状況

採卵回次	共生成立個体				殻長1mm個体				備考
	収容 幼生数 (万粒)	生残数 (万個体)	成立率 (%)	到達 日齢	生残数 (万個体)	生残率 (%)	到達 日齢	成立後 からの 生残率 (%)	
1	695	88.4	12.7	25～26	24.7	3.6	67	27.9	共生成立後順調
2	80	0	0	-	-	-	-	-	共生成立前死滅
3	200	8.0	4.0	29	4.3	2.2	53	53.8	共生成立後順調
4	640	18.3	2.9	24	5.6	0.9	60～67	30.6	共生成立後順調
計	1,615	114.7	7.1		34.6	2.1		30.2	

表4. ヒレジャコの配付実績

出荷日	組織名 漁協	個数	殻長平均 (mm)	用途	最小 (mm)	最大 (mm)
2015/9/18	糸満	1,000	9.24	養殖	8.08	11.03
2015/9/18	糸満	1,000	9.28	養殖	8.19	11.17
2015/9/18	八重山	10,000	15.93	養殖	10.85	23.03
2015/9/22	八重山	10,000	16.43	養殖	12.20	22.30
2015/9/23	八重山	20,000	16.27	養殖	11.15	23.50
2015/10/1	八重山	2,000	14.17	養殖	9.85	21.20
2015/10/1	八重山	5,000	13.49	養殖	9.50	17.20
2015/10/23	羽地	2,000	13.17	養殖	10.73	15.47
2015/11/2	八重山	300	14.31	養殖	9.90	20.70
小計	養殖	51,300	13.59		8.08	23.50
	放流等	0				
総計		51,300				

*E-mail : minamiyc@pref.okinawa.lg.jp , 現所属 : 沖縄県農林水産部水産課